

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2020 年度年間聖句

「わたしの舌がまだひと言も語らぬさきに
主よ、あなたはすべてを知っておられる。」
(詩編 139 編4節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
祈 禱 会 各水曜日

○昼の聖書研究祈禱会
(第1、第3・午後2時)

●夕の祈禱会
(第2、第4、第5・午後7時)

牧 師 井 殿 準

協力牧師 堂 本 陽 子

協力牧師 井 東 焔

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

2937 2021 年 1 月 10 日

礼拝式順序

(降誕節第3主日)

司式者 井 殿 準
奏楽者 岡 野 和 美

前 奏		奏 楽 者
招 詞	詩編 98 : 1 ~ 3	司 式 者
讚 美 歌	165 「心をつくして」(1~2節)	一 同
聖 書	マタイ 3 : 13 ~ 17 (新 P. 4)	司 式 者
祈 禱		”
説 教	「謙遜になる理由」	”
祈 禱		”
讚 美 歌	69 「神はそのひとり子を」(1,3節)	一 同
献 金		”
主の祈り	(93-5-A)	”
頌 栄	26 「グローリア、グローリア、グローリア」	”
祝 禱		司 式 者
答 唱	40-6 「アーメン」	一 同
後 奏		奏 楽 者

ご来会の方々へのお願い

<新型コロナ・ウイルス感染拡大予防ために、
以下のことをお願いいたします。>

- ・礼拝堂に入る前には、検温と受付の消毒液で手指の消毒をお願いいたします。
- ・マスクの着用をお願いいたします。息苦しさを感じましたらはずしていただきつつも結構ですが、マスクを着用しないままでの会話、讃美歌を歌うことは厳にお控えください。

先週の説教要旨

「何に耳を傾けるのか？」

(マタイ 2 : 13 ~ 23)

マタイ福音書は、救い主の降誕の喜びに続いて、ヘロデ王による幼児虐殺の悲劇を記す。マタイは、まかり間違えばこの悲劇を代償にイエスを生まれさせたとの理由で、神の責任さえ問われかねない仕方でも物語を描く。しかし、それだからこそ、聖書の御言葉と理不尽に満ちた我々の現実とが一つに結ばれて行くのではないだろうか。「幼児虐殺の故に流された涙、呻きの声は、あなたたち自身の涙であり、呻きなのだ」とマタイは告げるのだ。

ヨセフとマリアは、幼子イエスを連れてエジプトに逃れた。しかし、救いの御子は、人々の苦しみや悲しみに知らぬ顔を決め込んで、エジプトに逃れていたのではない。マタイの告げる救い主の物語は、それで終わったりはしていない。救いの御子は、エジプトから戻って来て、「インマヌエル(神、我らと共にいます)」という名の通り、どこまでも人々と共に生き、人々のために十字架に上り、そこで、ヘロデの命令によって無惨に殺された子どもたちと同じように、理不尽な苦しみを受けて、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」と叫びながら息を引き取った。主イエスは「激しく嘆き悲しむ者たち」と遠く離れているのではなく、その者たちと共に「なぜですか？」と一緒に呻き、叫んでくださる、というのがマタイのメッセージだ。

コロナ禍の中であって、今さまざまなことが語られる。「感染者の数が5日連続で3千人を上回りました」「感染拡大が止まりません」「医療体制は危機的状況に直面しています」等々。そんな声に囲まれて、我々の不安は増大するばかりであるが、神は、そのようなただ中であって今、「それでもわたしはあなたがたと共にいる」と我々に語りかけてくださっている。我々が耳を傾けるべきは、この神の声にほかならない。

我々のまわりでは不条理なことが後を絶たない。しかし、我々には一緒に苦しんでくださる方がいる。「それでもわたしはあなたがたと共にいる」と語りかけてくださる方がいる。この声に耳を澄ましながらか、新しく始まった年も希望を胸にしっかりと歩いて行こう。